令和元年１２月度　理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和元年１０月２４日（水）
２．開 催 日 時　令和元年１２月４日（水）　１３時００分～１４時００分
３．開 催 場 所　浜松町東京會舘「パールルーム」
［東京都港区浜松町２－４－１世界貿易センタービル３９階］
４．理 事 総 数　２２人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１８人（本人出席１８人）
７．出席監事数　２人（本人出席　２人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、宗村 進之介、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、原口　徹、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、富居 博治、玉木 寛之、上島　健、安室 篤志
９．出席監事の氏名
池田 隆久、川村 道夫
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入賛助会員について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、１１月１日付で加入申込みのあった賛助会員１社について資料に基づき、報告があった。

〈賛助会員〉

会社名	日本積層造形 株式会社　（加入年月日：令和元年１１月１日）
	代表取締役社長　保田 憲孝
	住　所：〒985-0874　宮城県多賀城市八幡一本柳 3-8
	TEL：022-290-0601、FAX：022-290-0631
資本金	４億８２００万円
常時雇用従業員	１９名
事業内容	AM 用金属粉製造販売、金属 AM 受託造形サービス、
	金属 AM による実用品・量産品開発

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく加入について承認された。

第２号議案　１２月例会式次第について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、１２月例会式次第及び懇親会参加者についての説明があった。講演会については、東京都中小企業団体中央会の支援事業を受けて開催することの説明があった。

嶋崎議長は、１２月例会式次第について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、竹内副理事長から、資料に基づき、平成３１年４月１日から令和元年９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があり、全体的に予算通りの状況であることの報告があった。

原口理事より、賦課金の未収について質問があり、竹内副理事長より、賛助会員１社が未納となっていることの説明があった。

嶋崎議長は、中間決算について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　東京工業大学 製造中核人材育成講座について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、昨年４月からスタートした第６期の修了証書授与式が１１月２日に行われ、全員が合格したことの報告があった。続いて先月２８日に第７期についての打合せが東京工業大学であり、嶋崎理事長と出席し、会議の中で受講料の値上げについて議論したことの報告があった。会議では、現行５０万円＋消費税４万円の受講料を１０万円値上げし、６０万円＋消費税６万円ということになったが、その後大学側より、値上げを５万円とし、受講料５５万円＋消費税６０万５千円とし、予算的に厳しくなった場合に奨学寄附金としてご協力をお願いしたい旨の連絡があったことの説明があった。

嶋崎議長から、材料工学系の大学が減ってきている事実があり、この講座については、組合から東京工業大学にお願いして継続している感が強いことが述べられ、大学側としては、奨学寄附金が受講料とは別管理で年度の繰越ができるという利点があるので、利用したいと考えていることと奨学寄付金については、組合員企業が被る形になることの説明があった。

嶋崎議長から、組合員企業が申込む場合に当初の予定の６６万円を徴収し、組合から大学側へは、受講料を振込み、残りを奨学寄付金用に組合で預かり、奨学寄附金の要請があれば充当し、無ければ返還を考えるという提案があった。

田村理事から、先日の打合せでは、大学事務職員の交代の件があり、人件費が掛かるというお話があった件についての質問と山田理事から、組合員企業で奨学寄付金を負担するという話について、一般の方の受講料を組合員より高めに設定すれば、不公平感が無いのではないかと質問があり、嶋崎議長からすぐに結論を出さないといけない為、次期の開催についてのみ議論したいことの説明があった。

山田理事より、６６万円を徴収し、受講料との差について会計上の処理対応を考えないといけないのではないかとの質問があり、嶋崎議長から検討したい旨述べられた。

上島理事より、取りあえず受講料の金額を決めることが先決で、寄付金については時間をかけて検討した方が良いのではないかとの意見があった。

嶋崎議長から、大学側に時間的猶予の必要について回答したい旨述べられた。

原田副理事長より、会計上の対応については、会計事務所と相談して回答したい旨述べられた。

嶋崎議長は、受講料の５万円の値上げについて議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　新年賀詞交歓会について

嶋崎理事長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、来年１月２１日（火）開催の新年賀詞交歓会の式次第案について説明があった。講演会については、１２月例会と同様に東京都中小企業団体中央会の支援事業を受けて開催することと新規加入の賛助会員が多いため、賛助会員 PR 会を予定したいことの説明があった。

嶋崎議長は、新年賀詞交歓会について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　各委員会活動状況について

嶋崎議長の指名により、秋山理事から９月１１日と１１月２２日開催の技術・品質合同委員会につて資料に基づき説明があった。主な内容としては、①事業報告及び計画、②都立産業技術センターとの業種別交流会の開催、③工場見学会の開催、④台風１９号により中止した ISO１４００１内部監査員養成研修会（初歩コース）の対応について、⑤新テーマを追加した実践型熱処理塾の開催、⑥新講師による新潟地区中級熱処理塾の開催、⑦来年の活動計画について、⑧品質委員会の活動内容について（「個別メーカーによる熱処理工程監査の要求事項」や「監査対応の勉強会」継続検討）。

続いて玉木理事より、第３回 BCP 推進 WG について、ハンズオン支援として有限責任監査法人トーマツの参加と関東経済産業局中小企業課高井係長がオブザーバー出席したことの報告の後、資料に基づき説明があった。主な内容としては、①参加各企業の BCP 策定の進捗状況の確認、②トーマツの支援について、③次回から参加企業が２社（島崎熱処理㈱、共和熱処理㈱）加わり１０社となること、④組合としての連携型 BCP の策定について。

原田副理事長より、資料に基づき、説明があった。主な内容としては、①組合ホームページのリニューアルについて、②日本金属熱処理工業会の総務委員会活動について（社団法人化、外国人技能実習制度）、③働き方改革について

原口理事より、社団法人化について質問があり、安室事務局長より、来年１月に日本金属熱処理工業会で臨時総会を開催して、そこで議題に上がることの説明があった。

後藤理事より、１１月１５日に開催された１１月度マーケティング委員会について資料に基づき説明があった。主な内容としては、①購入品価格調査結果について、②市場動向について、③価格交渉サポートセミナーについて。特に価格交渉サポートセミナーでは、価格交渉の成功事例と失敗事例のロールプレイを行い、それについてグループ討議をし、適正価格の実現について活発な意見交換が行われた旨述べられた。

嶋崎議長から、委員会活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、秋の叙勲・褒章の受章者、全国中小企業団体中央会会長表彰、東京都中小企業団体中央会会長表彰の受賞者の紹介があった。

旭日双光章：齊藤 基樹、

黄綬褒章：大山 照雄（西部金属熱処理工業協同組 理事長）

全国中小企業団体中央会会長表彰：大屋 和雄

東京都中小企業団体中央会会長表彰：大屋 和雄、南　直樹（順不同、敬称略）

続いて資料に基づき、今年９月から１１月までの組合員・賛助会員の異動について報告があり、最後に日本金属熱処理工業会の「金属熱処理業あんしん保険」の更新について報告があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和元年１２月４日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　原口　徹　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

〃　富居 博治　㊞

出席理事　玉木 寛之　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞